

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 3月 12日(土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第一学習 参勤交代(松平春嶽)⑥ 昨夢記事
開催日時 令和 4年 3月 10日(木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 8名 女 2名 合計 10名 欠席者 4名	
<p>(松平春嶽より筆頭老中阿部正弘宛の建白状)</p> <p>昨年六月アメリカ彼理(ペリー)渡来時、日本は俟約のお触れと品川沖に三カ所御砲台を築き大砲を鑄造の目論見のみで、天下に士気振興を仕向けなかったことは痛憤憂悶の至り。まして先方の病死者をペリーの願いにより横浜の某寺へ埋葬したが、府内遠からざる場所であり皇国の汚辱と切齒憤痛の至り。</p> <p>また応接に際し貢物を受領したり、蒸気船補給用の石炭渡場も長崎でとの申し入れも下田港に決めさせられ、何事もアメリカの言いなりでは際限がない。</p> <p>昨年十一月の将軍のお触れの如く、こちらの言い分を聞かざる場合は兵端を開く凜呼たる皇国の威勢を顕せば、アメリカも敬服に及ぶだろう。</p> <p>このままではロシアは江戸を、イギリスは大坂を、フランスは浦賀の開港を求め、許容無くば忽ち兵端に及ぶと申している。是もいちいち聞いていたら際限無き事だ。大名へも武備嚴重にするよう命じるにしても、越の勾踐会稽の恥辱を忘れず臥薪嘗胆の奮励の故事よりも一層の対処が急務である。</p> <p>(講師より、上記建白書の如くペリー来航時頃の春嶽は攘夷論者であり、その後「安政の大獄」の前辺りから日本の実力を悟り、旧態依然たる幕政の改革、海軍力充実、通商、を行うべしとし開国論に転じた、との補足説明があった。)</p>	
次回予定 令和4年3月24日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第二学習 島原の乱⑯	